



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2022年 3月31日

企業・団体名 株式会社新日本コンサルタント

代表者名 代表取締役社長 市森 友明

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和 3年8月10日（宣言日）～令和4年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 富山型インフラ管理エコシステムを強化することによる持続可能な地域の社会基盤の確立に貢献する</p> <p>【実施状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・効率的なインフラ維持管理手法として、橋梁包括管理の手法を開発中。 ・マンホールポンプAI監視システム及びAI橋梁遠隔診断システムの開発中。 ・道路パトロールシステム「みちクラ」: 既存導入実績に加え、試行数6自治体 ・AI推移予測システム「水まもり」: 既存導入実績に加え、試行数: 2自治体 ※みちクラは、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)主催、総務省、経済産業省が後援する、「MCPC award 2021」において、サービス&ソリューション部門で奨励賞を受賞しました。 ※また次世代型インフラマネジメント事業サービス(DX 事業)の取組みが認められ、経済産業省「DX セレクション2022」の優良事例(全国16社)に選定されました。 ・官民連携及び民間資金を活用したPPP/PFI事業の展開: 県内事業 2件、首都圏事業1件 </p>
2	<p>【目標】 国内外の自社水力発電所、太陽光発電所の開発及び創出されるカーボンクレジット活用による富山のカーボンニュートラルに貢献する</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年(令和4年)金沢ゆわく小水力発電所(認可出力160kW)が新規運転開始。 ・インドネシアにおいて、建設中のトンガル水力発電事業(発電出力6,200kw 相当)が工事が順調にすすんでおり、2022年中に竣工予定。 ・同じくインドネシアにおいて産業用需要家向け屋根置き太陽光発電(第三者所有モデル)事業を開始し、すでに複数の発電所が稼働済。 ・環境省補助事業に採択されているトンガル水力発電事業での想定温室効果ガス減量は、18,319 tCO₂/年を見込んでおり、稼働済の国内発電所、インドネシアでの太陽光発電所での削減効果も加え、カーボンニュートラルの実現に貢献します。 </p>
3	<p>【目標】 技術サービス業における外国人高度技能社員・女性技術社員の活躍推進によるダイバーシティ推進及びDX・リモートワークを活用したニューノーマル時代の働き方の定着を通じ、地域産業の高質化と生産年齢人口維持に貢献する</p> <p>【実施状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・国籍・ジェンダー、働き方にとらわれない就労環境を整え、社員における女性就業率は37%、女性役職者は30%、外国人社員の雇用数は10名。 ・リモートワークに対応すべく、ノートPCの支給率は85%、グループ企業を含むサテライトオフィス拠点数10か所と、柔軟な勤務体制をとれる対策を実施済です。 ・健康経営の一環として、社内にトクホ飲料・補食の販売システム、定期的なケータリングランチの実施、歯科検診の計画など福利厚生充実をはかり、健康経営の認証に向けて取組を実施中です。 </p>

※宣言日から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。